

## 特集 サーボモータ



「JECOA FAIR AP」によるスマート工場実現に向けた取り組み。経済産業大臣賞を受賞した「製品コンクール」の受賞製品が決まった。

「JECOA FAIR AP」によるスマート工場実現に向けた取り組み。経済産業大臣賞を受賞した「製品コンクール」の受賞製品が決まった。

「JECOA FAIR AP」によるスマート工場実現に向けた取り組み。経済産業大臣賞を受賞した「製品コンクール」の受賞製品が決まった。

「JECOA FAIR AP」によるスマート工場実現に向けた取り組み。経済産業大臣賞を受賞した「製品コンクール」の受賞製品が決まった。

## 寺崎電気産業が受賞

「JECOA FAIR AP」によるスマート工場実現に向けた取り組み。経済産業大臣賞を受賞した「製品コンクール」の受賞製品が決まった。

「JECOA FAIR AP」によるスマート工場実現に向けた取り組み。経済産業大臣賞を受賞した「製品コンクール」の受賞製品が決まった。

「JECOA FAIR AP」によるスマート工場実現に向けた取り組み。経済産業大臣賞を受賞した「製品コンクール」の受賞製品が決まった。

## NECA「5月制御機器出荷統計」

NECA「5月制御機器出荷統計」によると、5月の制御機器出荷額は前年同月比9.6%増の581億円に達した。

NECA「5月制御機器出荷統計」によると、5月の制御機器出荷額は前年同月比9.6%増の581億円に達した。

NECA「5月制御機器出荷統計」によると、5月の制御機器出荷額は前年同月比9.6%増の581億円に達した。

## 海外メーカー提案強化

海外メーカーの提案強化が進んでいる。特にPLCやロボット分野での競争が激化している。

海外メーカーの提案強化が進んでいる。特にPLCやロボット分野での競争が激化している。

海外メーカーの提案強化が進んでいる。特にPLCやロボット分野での競争が激化している。

## シーメンス ヒラノテクシードと協業

シーメンスとヒラノテクシードが協業し、バッテリー製造装置のDX推進に取り組んでいる。

シーメンスとヒラノテクシードが協業し、バッテリー製造装置のDX推進に取り組んでいる。

シーメンスとヒラノテクシードが協業し、バッテリー製造装置のDX推進に取り組んでいる。

## 納期問題 解消へ加速

納期問題の解消が加速している。生産力強化と正常化製品も続々登場している。

納期問題の解消が加速している。生産力強化と正常化製品も続々登場している。

納期問題の解消が加速している。生産力強化と正常化製品も続々登場している。

### azbil

あすみる、アズビル。

オートメーションで未来を描く

アズビル株式会社

### 「若者ものづくり大会」開催

8月1、2日 静岡ツインメッセ

技能に対する意識を高め、ものづくりの分野への就業を促進し、若年技術者の裾野拡大を目的とする「若者ものづくり大会」を開催する。

### 灯台

あえて気にかけて見ているせい

か、工場や営業所集約や統廃合の話題の多さを感ずる。地方の営業所を廃して都市圏にある営業所に統合したり、同一地域内に複数展開していた工場を1つにするなど、統廃合や集約というものが、売上不振による撤退や廃止ではなく、より前向きな戦略的な意思を感じさせている。

### 縦横取付け可能! コネクタ端子台 VSFシリーズ

縦横兼用  
スリム39mm幅  
消えないマーキング  
使用周囲温度65°C  
Push-in 端子台

超小型コネクタ端子台

2 WAY FIT COMPLETE line

www.phoenixcontact.co.jp

PHOENIX CONTACT  
100 years of passion for technology and innovation  
35th ANNIVERSARY  
弊社は2023年にドイツ本社創設100周年・日本法人設立35周年を迎えました

フェニックス・コンタクト株式会社

東京支店 さいたま支店 東北支店 北陸支店 静岡支店 名古屋支店 大阪支店 京都支店 広島支店 福岡支店  
☎ 03-6712-3088 ☎ 048-631-3371 ☎ 022-226-8890 ☎ 076-210-4360 ☎ 054-202-6324 ☎ 052-589-3810 ☎ 06-6350-2722 ☎ 075-325-5990 ☎ 082-568-1664 ☎ 092-418-2030



# FA業界掲示板

■オムロン、シミュレーションソフト「Sysmac Studio」に新機能「ワーク動作設定の簡易化」を追加  
オムロンは、3Dシミュレーションソフト「Sysmac Studio」の新機能として「ワーク動作設定の簡易化」を追加した。これまで3Dシミュレーションでワークの動きを作るには、シェイプスクリプトでのプログラミングが必要だったが、設定を行うだけで設備内でのワークの動きが実現できるようになった。



■アズビルとインド工科大学ルールキー校、革新的なデジタルソリューション共同研究を開始  
アズビルは、インド工科大学ルールキー校と革新的なデジタルソリューションの共同研究について覚書を締結した。今後両者は、互いに関心の高い分野で共同研究やインターシッパプログラムを実施する。具体的には、共同学術活動、デジタル化促進プロジェクト、専門知識と人材の相互提供、特定の科学、技術、工学、数学（STEM）分野における人材育成などを予定している。



■ロックウェル・オートメーション、調査レポート「第8回スマートマニュファクチャリング報告書」公開  
ロックウェル・オートメーションは、グローバルにおける製造業DX、スマート化の状況をまとめた調査レポートの第8回目となる「スマートマニュファクチャリング報告書」を公開した。

同調査では、世界で1000社以上の製造メーカを調査し、世界の製造業におけるテクノロジーの現状、最大の課題、産業の未来について展望をまとめている。主なサマリーとして、競合他社に打ち勝つためのテクノロジーが不足していると回答した企業が、昨年の調査と比較して約2倍に増加、調査参加企業の97%が今後1～2年の間にスマートマニュファクチャリングテクノロジーを利用する、または利用する予定があると回答。製造メーカの3分の2以上が、人員不足への対応にテクノロジーが非常に役立つ、あるいは非常に役立つと考えている。機械学習や人工知能を活用する製造メーカが昨年比で50%以上増加したなどが挙げられている。調査レポートは同社WEBから無料で入手することができる。

■ワゴジャパン、コントローラ製品がIEC61131-3準拠の「CODESYS V3.5」に対応  
ワゴジャパンは、同社のコントローラ製品について、ファームウェアをアップデートによって「CODESYS V3.5」に対応する。

CODESYS V3.5は、世界標準のIEC 61131-3に準拠したPLCプロジェクトエンジニアリングのためのメーカー非依存型ソフトウェアプラットフォーム。すでにCC100コントローラでは対応していたが、このほど「PFC200 G2シリーズ」や「Edgeコントローラ」、「タッチパネルTP600」でもファームウェア

未来のためのイーサネットの We realize ideas

国内販売総代理店 Rinsconnect 株式会社リンスコネク

アをアップデートするとCODESYS V3.5環境を使用できるようになる。

■パナソニック、家電リサイクル進化に向け「エアコン室外機外装自動分解システム」開発

パナソニックホールディングスマニュファクチャリングイノベーション本部は、パナソニックエコテクノロジー関東と三菱マテリアルと協力し、エアコンの分解工程において、室外機をロボットで分解する「エアコン外装自動分解設備」と分解に必要な情報を蓄積する「分解データベース」による「エアコン室外機外装自動分解システム」を開発した。

現在、リサイクル工場には年間369万台のエアコンが持ち込まれ、室外機は熱交換器、コンプレッサ、制御基板などの部品を手作業で分解・回収した後にシュレッダーによる破碎、素材選別を実施している。それに対して同システムは、AIを活用した認識技術と、正確な位置決め制御、人の手技を再現するロボット制御技術を用いてエアコン室外機外装のビス外しとカバー外しを自動で行う「エアコン外装自動分解設備」を開発。エアコン室外機をカメラで撮影し、汚れやサビがあるビスをAIを用いて正確に見つけ出し、ドライバーを備えたロボットアームでビスを外した後、把持ハンドでカバーの嵌め込みを外して分解。これにより分解工程の一部の自動化を実現した。



■コンテック、技術コラム「リモートI/OとソフトウエアPLCで工場のIoT化を実現」公開

コンテックは、同社WEBサイトで技術コラム「リモートI/OとソフトウエアPLCで工場のIoT化を実現」を公開した。近年注目を集めるリモートI/OとソフトウエアPLCについて、リモートI/OとソフトウエアPLCの基礎知識、それらが注目される背景、活用事例を解説している。

■リタール、ドイツ・ハノーバーメッセ2023の出展レポート特設ページを公開

リタールは、4月16日から21日にかけてドイツ・ハノーバーで行われた世界最大級の産業国際見本市「ハノーバーメッセ」について、リタールとEPLANは姉妹会社としてFriedhelm Lohグループのアースに出展し、その様子を紹介する特設ページを公開した。ブースと展示内容を解説と画像付きでまとめており、ヨーロッパでの制御盤の設計・製造の効率化、デジタル化の進捗具合などを解説している。



■ソルトン、製品コラムのミニ連載「スリップリングの豆知識」を開始。第1回を公開

ソルトンは、同社WEBサイトで製品コラムのミニ連載「スリップリングの豆知識」を開始した。第1回は「スリップリングの形状について」取り上げ、軸車型（シャフトエンドタイプ）スリップリングと中空型（スルーシャフトタイプ）スリップリングの2種類のスリップリングの形状について解説している。



■サトーパーツ、豆知識コラム「ツマミのお話あれこれ-1」を公開

サトーパーツは、同社WEB内「サトーパーツの部屋」で、豆知識コラム「ツマミのお話あれこれ-1」を公開した。電気機器に付いている、手で回すツマミについて、その構造と機能を技術的に深掘りして解説している。

■フジコン、同社製品の取扱代理店一覧を公開  
フジコンは、同社製品を取り扱っている全国の販売代理店一覧を公開した。国内向けは菱電商事や高木商会、サンワテクノス、加賀電子など31社、海外輸出代理店はサンワテクノスなど3社となっている。

■日東工業、Gakkenと共同で小学生向け学習まんが「電気を安全に使えるひみつ」を発行

日東工業は、Gakkenの小学生向け学習まんが書籍「まんがでよくわかるシリーズ」について、「電気を安全に使えるひみつ」をGakkenと共同で制作した。

同書は、いろいろな所で使われている電気を安全に安心して使うための仕組みや歴史などをわかりやすく掲載しており、知識を幅広く得ることができ、Gakkenを通じて公益社団法人日本PTA全国協議会の推薦を受けて全国約2万の小学校（特別支援学校含む）、約3200の公立図書館、約800の児童館に2万5000部寄贈された。



■NECファシリティーズ、工場施設運営の体験型研修施設をNEC我孫子事業所内に新設

NECファシリティーズは、半導体工場や電子部品の製造工場のアウトソーシング事業の強化に向け、工場施設運営における熟練技術の継承とDX活用の価値評価・検証を行う体験型の社員向け研修施設「FM-

Base（エフ・エム・ベース）」を、NEC我孫子事業場（千葉県我孫子市）に新設する。稼働開始は2024年5月を予定。

同施設には実際に工場で使用されているクリーンルーム・空調・純水製造・排水、薬品供給などの設備を配置し、熟練者の経験をもとに体験型の教育プログラムを行うことで設備間の関係性を理解した上で施設全体の管理・運用方法を習得することが可能となり、従来手法のOJTと比べ習熟期間の半減を実現する。

また設備の効率的な運転、DX導入による省人化、省エネを意識した工場の管理・運用に向けてNECのさまざまなソリューションも活用し、DX化の取り組みを加速する。

■オリエンタルモーター、「New Motion」112号を発行

オリエンタルモーターは、新製品情報や技術情報、展示会やイベント情報、技術セミナー案内など最新情報を掲載する冊子「New Motion」の112号を発行・公開した。

最新号では、特集としてオリエンタルモーターフェア2023開催のほか、新製品情報としてDG IIシリーズAZXシリーズ搭載、AZXシリーズ600W、AZシリーズコネクタタイプギヤードタイプ、自動化に応える電動クリッパ〜産業用ロボットの最新動向〜などを掲載している。



## セミナー・イベント情報

■アドバンテック、10月26-28日に台湾でインダストリアルIoTのグローバルイベント

アドバンテック・インダストリアルIoT事業部は、2023年10月26～28日、台湾・林口キャンパスで、プライベートイベント「Advantech Industrial-IoT World Partner Conference（ワールド・パートナー・カンファレンス/WPC）」を開催する。

同イベントは、20以上のフォーラム・ワークショップ、150以上のソリューションブースが設けられ、世界から300社以上、700人以上が参加する同社のグローバルイベント。スマート製造、グリーンエネルギー、輸送、インテリジェンスファクトリー、産業用AI、スマートオートメーション、産業用ワイヤレスなど、成長の主要分野へのアドオンイノベーションを実現するインダストリアルIoTの最新トレンドを紹介する。

■中西電機工業、7月7日に愛知県岡崎市でプライベート展「ナカネット展示会」

中西電機工業は、7月7日に愛知県岡崎市の岡崎中央総合公園総合体育館武道館で、プライベート展となる「ナカネット展示会」を開催する。今回のテーマは「どうする DX・自動化・脱炭素・生産性品質向上 最新技術がここにある」とし、IoTやロボット、脱炭素関連機器など101社の最新技術を展示する。また9つの無料セミナーも実施する。



を移転・統合し、7月3日から東京支店（村上翼支店長）を開設した。新住所は東京都港区港南1-6-41、芝浦クリスタル品川9階、電話は03-6712-3088、FAXは03-6712-3099

■サンワテクノス、インドに現地法人設立

サンワテクノスは、インド・ベンガルール市に現地法人「サンワテクノスインド」（古川晋平代表）を設立し、2023年9月1日から営業を開始する。

ベンガルールは、インドのシリコンバレーといわれ、インドでIT産業が最も盛んな都市で、自動車、自動車部品、工作機械、航空宇宙などの製造業も多く進出している。インド地域はこれまでサンワテクノスシンガポールで対応していたが、営業拠点の開設で地域の顧客へ密着した営業活動を展開し、新規市場への事業拡大を目指す。人員は2人（現地社員1人）体制。同社の海外拠点はこれで33カ所になり、うちアジアは27拠点。



■北陽電機、中国・上海市に現地法人を設立

北陽電機は、中国・上海市に100%出資の現地法人「Hokuyo Automatic (Shanghai) Co., Ltd.（北陽好酷优自动化设备（上海）有限公司）」を設立した。オフィス住所は、上海市長寧区仙霞路317号 遠東国際広場B棟1514E室。電話は+86-21-5265-5010

■東洋技研、北陸営業所の業務部門を本社営業本部に統合。連絡先を変更

東洋技研は、北陸営業所について、6月21日付で固定電話を廃止して受注窓口・連絡先を本社営業本部に統合した。新たな受注窓口・連絡先は、窓口は東洋技研株式会社営業本部、住所は長野県岡谷市長地権現町4-8-7、電話番号は0266-75-5775、FAXとメールアドレスは変更なし。同エリアの営業活動は引き続き北陸営業所が行う。

## 移転・オープン

■フエニックス・コンタクト、東京支店と横浜支店を移転し統合  
フエニックス・コンタクトは、東京支店と横浜支店

# 工場をいろんな無線でつなぎます



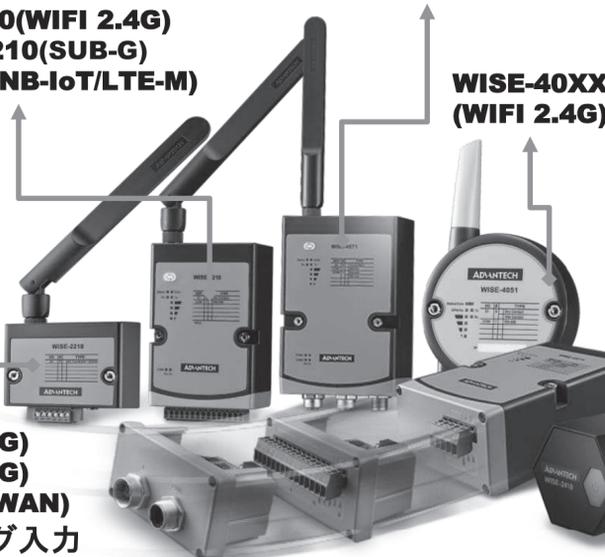
Enabling an Intelligent Planet

ECU-1051(LTE/Wifi)  
ECU-150(LTE/Wifi)  
ECU-1252(LTE/Wifi/CAN)  
エッジゲートウェイ



WISE-4220(WIFI 2.4G)  
WISE-4210(SUB-G)  
WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-2210(SUB-G)  
WISE-2211(SUB-G)  
WISE-2200-M(LoRaWAN)  
CT給電対応/アナログ入力



WISE-40XX (WIFI 2.4G)

WISE-S100  
タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN)  
WISE-2410X(LoRaWAN)  
振動センサ電池駆動型

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社  
<https://www.advantech.com/ja-jp/>

[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草 6-16-3

TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

[大阪支店] TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886 [名古屋支店] TEL : 052-241-2490 FAX : 052-241-2491





工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

■ジオマテック、兵庫県赤穂市の赤穂工場で次世代半導体実装用特殊キャリアHRDP用薄膜の生産能力増強

ジオマテックは、三井金属鉱業が事業化を推進している次世代半導体実装用特殊キャリア「HRDP」向け薄膜について、兵庫県明石市の赤穂工場での生産能力を増強する。

HRDPは、L/S=2/2μm以下の超高密度設計を実現できる特殊キャリアで、三井金属はHRDPを適用した次世代半導体パッケージ開発を本格的に進めている。同社はこれを受け、赤穂工場に薄膜用装置と付帯設備ほか9億円の設備投資を行い、生産能力を現在の2倍に引き上げる。

■ユニオンツール、新潟県見附市に見附第三工場建設。超硬エンドミルの生産強化

ユニオンツールは、新潟県見附市の見附工場敷地内に第三工場建屋を建設する。

同工場は、超硬エンドミル専用工場として既に工場建屋2棟を有し、標準品の産出量拡大のほか、工具性能の向上、被削材・加工方法の多様化への対応を進めている。今回の第三工場建設により、既存品の量産拡大に加え、Valueシリーズをはじめとする新製品の投入加速とユーザー向け特殊品の対応力の強化を図る。

第三工場の建屋は地上2階建て鉄筋コンクリート、延床面積は6599平方メートル。工事期間は2023年6月から2024年5月末まで。建設費用は26億円。

■王子製紙、鳥取県米子市の米子工場に木質由来エタノール・糖液のパイロット製造設備を導入

王子製紙は、鳥取県米子市の米子工場に木質由来エタノール・糖液のパイロット製造設備を導入する。

同社は木材を生かした「木質由来の新素材」の開発を進めており、航空業界向けSAFや化学業界における基礎化学品製造に利用できる「木質由来エタノール」、さまざまなバイオものづくりの基幹原料となる「木質由来糖液」のニーズ拡大が見込まれている。

今回、パイロット製造設備を導入することで、実用化を見据えたユーザーに向けて大量のエタノール・糖液提供を実施し、2030年時目標のエタノールとして10万kL供給に向けた事業化の取り組みを加速させていく。製紙工場内に設置することで既存のパルプ製造ラインが活用でき、工程から副産物として得られる「リグニン」をバイオマスエネルギーとして利用もできる。これによって二酸化炭素発生量を抑えたエタノール製造、糖液製造も可能となる。稼働時期は2024年度後半。

■積水化学工業、滋賀県甲賀市の滋賀水口工場でポリビニルアセタール樹脂の生産能力を増強

積水化学工業の高機能プラスチックカンパニーは、滋賀水口工場(滋賀県甲賀市水口町泉1259の)でポリビニルアセタール樹脂の生産能力を増強する。

ポリビニルアセタール樹脂は各種バインダー、接着剤、インク、塗料など幅広い用途で使われ、同社は電子部品向けセラミックバインダー用

途では世界トップシェアを持っている。パソコン、スマートフォンなどの電子機器用途に加えEV車などをはじめとした車載電子部品の増加にともなって需要は急速に拡大しており、今回の生産能力増強はこれに合わせたものとなる。

増産開始は2025年度第4四半期(2026年1~3月)を予定している。投資額約20億円。

■テルモ、山梨県昭和町のメディカルケアソリューションズカンパニーの甲府工場内に新棟を建設

テルモは、メディカルケアソリューションズカンパニーの新棟工場を、甲府工場内(山梨県昭和町)に建設する。投資額は522億円を見込み、2025年度に竣工を予定している。

新棟工場は、医療機器と医薬品を組み合わせたコンピネーション製品の開発製造受託(CDMO)や、腹腔透析関連製品の生産を行う予定で、将来のさらなる増設を見据えた生産スペースも確保する。

■ASTI、静岡県浜松市北区の浜松工場が稼働

ASTIは、静岡県浜松市北区大原町に新設した浜松工場の操業を開始した。同社が国内に工場を新設するのは11年ぶり。

同工場は、低炭素社会の実現に資する関連部品の生産体制と研究開発体制を強化し、技術開発部門と製造部門が一体となって設計から生産のプロセスを加速させることを目的とする。主な製造品目はバッテリー充電器、DC/DCコンバータ、車載ラジオなど自社開発製品のほか、車載用ECU、コントロールユニットなどの電子ユニットを生産する。二輪車の電動化に向けたインバータの設計開発も行う。

またゼロ・エミッション工場として、屋上に1404枚のパネル、発電量442kWの太陽光発電設備を設置したほか、貯めた雨水を樹木の散水に利用、壁面緑化システム、風力と太陽光のハイブリッド街灯、EV車用充電スタンド、生ごみ処理機による食堂から出る生ゴミを肥料として再生などを行う。また太陽光発電で賄いきれない電力は、中部電力「静岡Greenでんき」を購入し、電力使用に係る排出CO<sub>2</sub>はゼロとなる。

鉄骨造陸屋3階建。建築面積は7264平方メートル。延床面積は1万9166平方メートル。敷地面積は2万2628平方メートル。総工費は約40億円。

■EIZO、石川県白山市の本社敷地内に新技術棟を建設

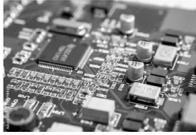
EIZOは、石川県白山市下柏野町153番地の本社敷地内に、映像機器関連事業の将来成長を見据え、コアと

なる製品、システム開発と顧客対応力の強化とサステナビリティ推進を目的として新技術棟を建設する。

新技術棟は、将来の拡張性と汎用性を考慮して延べ床面積を確保するほか、既存棟のレイアウト変更を含めて建物とフロア全体レイアウトの最適化、創造的な仕事と生産性向上に向けた職場環境の構築、サステナビリティ推進を目的とし、既存の倉庫棟を解体した跡地に建設する。

またZEB規格を満たす仕様とし、屋上には年間発電量15万kWhの太陽光発電設備を設定。2026年度中に敷地内の建物全体でのZEB規格認証取得を目指す。

投資額は約60億円。延床面積は約1万2814平方メートルの鉄骨地上6階建。着工予定は2023年12月。竣工予定は2025年1月。稼働開始予定は2025年2月。



■アイチコーポレーション、群馬県玉村町に新工場建設に向けた用地を取得

アイチコーポレーションは、群馬県佐波郡玉村町の高崎玉村スマートIC北地区工業団地の新工場建設に向けた用地を取得する。敷地面積は3万3000平方メートル。

■明治、北海道川西郡芽室町の十勝工場にメタン発酵ハイブリッド処理装置を導入。メタンバイオガスをエネルギー利用

明治は、北海道河西郡芽室町の十勝工場に、チーズ生産時に発生するホエイ(乳清)残さをメタン発酵して排水処理する設備を導入する。これにより十勝工場の年間産業廃棄物量の54%削減とCO<sub>2</sub>排出量の5.9%削減を見込む(2021年度比)。

同設備は、チーズ生産時の副産物であるホエイからホエイプロテインパウダーを製造する際に発生するパーミエイト(膜ろ過透過液)をメタン発酵処理する設備。メタン発酵と既設好気処理の並列ハイブリッド仕様の設備



海外

■ニデック、セルビアノヴィ・サド市に車載用モーターと車載用インバータ・ECU製造の新工場2拠点を開設

ニデックは、セルビア共和国ノヴィ・サド市に、車載用モーターを製造するニデックエレクトリックモーター・セルビア、車載向けインバータとECU量産のニデックエレクトリックヨーロッパを設立した。今後グループ会社の複数事業も現地に進出する予定で、

将来的には欧州域内の電気自動車向けトラクションモーターシステム「E-Axle」の量産も視野に、サプライヤーの誘致活動も推進しており、欧州市場に向けた車載モーターの産業クラスターを構築する。

ニデックエレクトリックモーター・セルビアの敷地総面積は5万9760平方メートル。ニデックエレクトリックヨーロッパの敷地総面積は3万6000平方メートル。

■エンブラス、ベトナムビンフック省の第三タンロン工業団地にICソケット組立の新工場開設

エンブラスは、世界的な半導体需要の増加に対し、顧客ニーズや市場変化へ迅速に対応するため、ベトナムビンフック省第三タンロン工業団地にICソケットの組立工場を開設した。延床面積は2500平方メートル。

■ローランドディー・ジー、タイにデンタル製品とデジタルファブリケーションの新工場棟が稼働

ローランドディー・ジーは、製造子会社Roland Digital Group (Thailand) Ltd.で量産工場のタイ工場の新棟が完成し稼働を開始した。

新工場はデンタル製品とデジタルファブリケーション製品の生産を担い、現在本社で行われているサービスパーツなどの管理・出荷業務は12月開始を目標に移管を進めている。面積は6600平方メートル。生産エリア面積は4410平方メートルの鉄骨造1階建て。投資金額は約4億5600万円。

■クラシエ薬品、中国山東省威海市に漢方薬の原料製造の新工場

クラシエ薬品は、中国山東省威海市に、漢方薬の原

料となる生薬の刻み工程と原薬であるエキス粉末の製造と生薬保管を行う新工場を開設した。

現在同社は、中国山東省青島市と大塚府高槻市の工場

でエキス粉末の製造を行い、富山県高岡市の工場

で細粒剤や錠剤などの製剤化と最終製品の包装を行っている。今後の医療用漢方薬と一般用漢方薬の国内需要拡大を見据え、中国でエキス粉末の製造プラントを増設し、漢方薬の供給体制を増強する。

生産品目は、葛根湯エキス粉末、人參養榮湯エキス粉末、補中益気湯エキス粉末など。生産能力はエキス粉末を年間最大400トン、生薬保管能力は約3200トン。敷地面積は6万6517平方メートル。延床面積は2万8705平方メートル。建築面積8090平方メートル。

■MeijiSeikaファルマ、インドに医薬品受託の製造棟が竣工

MeijiSeikaファルマは、インド子会社のメドリック傘下のアドコック・イングラム・ファルマ・プライベートについて、ベンガルール市に医薬品製造受託事業の生産能力増強を目的とした製造棟を竣工した。

アドコック・イングラム・ファルマ・プライベートは、アドコック・イングラムの完全子会社として2021年に設立。アドコック・イングラムはメドリックと南アフリカのアドコック・イングラム・ホールディングスとの合併会社として設立された医薬品製造受託会社(CMO)。新製造棟は、延床面積7878平方メートルの地上3階建て。錠剤7億5000万錠、サジェ剤7500万包、ボトル400万本の生産能力を有する。

南アフリカのアドコック・イングラム・グループからの受託による医薬品製造に加え、グループ外の他社に向けた製造も行う予定。敷地面積は約8000平方メートル。延床面積は約7878平方メートル。建設費用は、22.1億円。



MeijiSeikaファルマは、インド子会社のメドリック傘下のアドコック・イングラム・ファルマ・プライベートについて、ベンガルール市に医薬品製造受託事業の生産能力増強を目的とした製造棟を竣工した。

**Just in your products**  
**Just Products**

**挑戦する盤メーカーを**  
**サポートする会社**

**コスト、生産性、脱炭素。**  
**それだけにどまらない、**  
**鋼バー加工の外注化の**  
**メリットをお伝えします。**

株式会社ジャストプロダクツ

**JAPAN UNIX**

**世界の製造業が採用**  
**IPC 品質標準規格**

J-STD-001G IP  
はんだ付けされる電気電子組立品の許容基準

IPC-A-610G IP  
電子組立品の許容基準

J-STD-001GA/IPC-A-610GA  
自動車・車載向け追加要求事項

グローバルに通用する製品品質を備え、  
世界各地での躍の第一歩に――

ジャパンユニックスでは  
IPCの標準規格書・情報・サービスを  
提供しています

IPC 標準規格書 無料版 まずは web からダウンロード

『IPC』『規格』『無料』で

株式会社 ジャパンユニックス  
http://www.japanunix.com

**はんだ付工程を**  
**見える化する**

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』ではんだ付のIoT化へ  
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して  
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現  
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により  
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に

ジャパンユニックス製品 導入事例集 web にて公開

『はんだ付 導入事例』で

株式会社 ジャパンユニックス  
本社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554  
大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112 テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503

技術専門用語の習得が遅い若手技術者

技術者として採用された若手が、一度は直感的に「技術専門用語」という壁。今日は「技術専門用語の習得が遅い若手技術者」ということにスポットを当ててみたいと思います。

技術者として  
技術専門用語の習得は  
不可欠な業務の一つ

結論から言うと、技術者にとって「技術専門用語」取得は避けて通れない業務の一つといえます。何故かというと、「技術的な専門用語は、技術的な議論を技術者同士が同じ土俵で進めるために不可欠なツールである」という事実から来ます。

技術者の本来推進しなければならぬ業務は、「自らの専門知識を使って、課題解決や新しい技術創出に向けて議論をした上で、実行方法を伴った知恵にまで落とし込み、活字で情報発信する」という

製造業・世界と戦う担い手づくり

エキスパート 待望

「専門知識を使って、課題解決や新しい技術創出に向けて議論」という所において、技術専門用語は議論に加わっている技術者たちを同じ土俵に乗せ、何よりの「技術的な議論をより効果的に進める」という役割があるのです。

そのため、若手技術者は好き嫌いなどを別として、専門用語の習得に努力することは必要であるという考えで間違いないでしょう。

若手技術者の  
専門用語習得を遅らせる  
二大要因

しかし、実際はなかなか専門用語を若手技術者習得できないという状況にあるのではないのでしょうか。その背景にあるのは主に2つの要因です。1つ目は、若手技術者の持つ「専門性至上主義」による「フラット」です。

中堅以上がかみ砕いて説明



吉田 州一郎 (よしだ しゅういちろう) FRP Consultant株式会社 代表取締役社長 福井大学非常勤講師 FRP (繊維強化プラスチック) を用いた製品の技術的課題解決、該業界への参入を検討する企業をサポートする技術コンサルティング企業代表。現在も国内外の研究開発最前線で先進、指示するなど、評論家ではない実践力を重視。複数の海外ジャーナルにFull paperを掲載させた高い専門性に裏付けられた技術サポートには定評がある。

「自分は知らない」ということを認めたくないのです。仮に教えてほしいと言ったとしても、次に待ち構えるのが中堅以上の技術者や元技術者であるマネジメントです。これが「目的の達成」で、中堅以上の技術者は実際にそうであったか否かを確認して、「自分は手よりも弱ってきた」という自負が生まれます。そのため、専門用語について聞かれたら、「お前はそんなことも知らないのか」となる言い方になります。

「中堅以上の技術者が技術的な専門用語を専門用語を使わずに説明するのは解決策」という考えが、中堅以上の技術者から生まれることが多いです。しかし、時と場合によっては素直に教えた方が育成の観点から望ましいケースがあります。若手技術者が専門用語の解説をしないということが多々あるのです。

この若手技術者専門性至上主義と、若いころ勇気という色が付いた「それを知りたいから教えてほしい」ということを発言できる中堅以上の技術者という二大要因により、なかなか専門用語の習得が進まないという状況が多々見受けられます。

中堅以上の技術者が技術的な専門用語を専門用語を使わずに説明するのは解決策」という考えが、中堅以上の技術者から生まれることが多いです。しかし、時と場合によっては素直に教えた方が育成の観点から望ましいケースがあります。若手技術者が専門用語の解説をしないということが多々あるのです。

デジタル経営への道

新時代の販売戦略

株式会社才流の岸田です。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、街やイベントにも賑わいが戻ってまいりました。先日、秋葉原を訪ねたのですが、海外からの旅行者もたくさん見かけました。今後の経済活動の活性化も期待したいところです。

企業活動としてはリモートワークから出社への復帰、展示会開催の再開など、従来の活動に戻る動きも見られるようになってきました。一方で、Web面談やデジタルを活用したマーケティング活動のような、コロナ禍での変化をそのまま適応している部分も多くあるように思います。

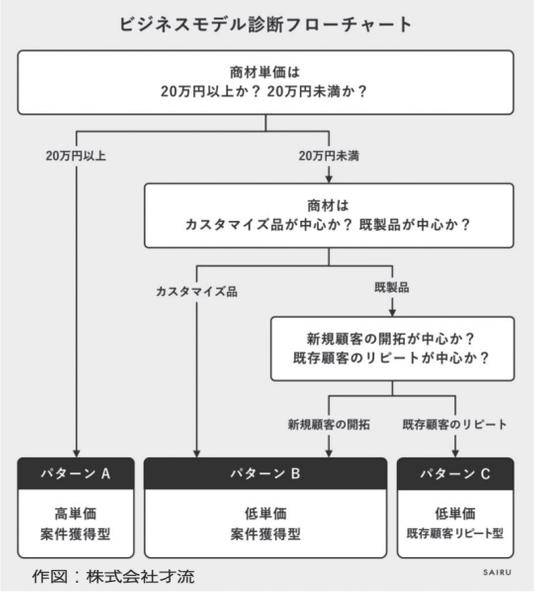
マーケティング手法はますます発展し、BtoB製造業でもマーケティング活動に取り組み事例が増えています。しかし、業界特有の商習慣があることから、一般的なマーケティングの話は自分たちには「しっくりこない」と感じることがある方も多くいるのではないのでしょうか。

そこで今回は、BtoB製造業に特化して、マーケティングの役割と効果的な施策について解説します。

■フローチャートで自社のビジネスモデルを判定する  
本記事では、BtoB製造業のビジネスモデルを3つのパターンに分けて、それぞれに最適なマーケティング施策に、営業を連携しましょう。

⑤ BtoB製造業のマーケティングの役割と効果的な施策

ビジネスモデル見極め検討



「自分は知らない」ということを認めたくないのです。仮に教えてほしいと言ったとしても、次に待ち構えるのが中堅以上の技術者や元技術者であるマネジメントです。これが「目的の達成」で、中堅以上の技術者は実際にそうであったか否かを確認して、「自分は手よりも弱ってきた」という自負が生まれます。そのため、専門用語について聞かれたら、「お前はそんなことも知らないのか」となる言い方になります。

岸田 慎平 株式会社才流 コンサルタント。新卒でBtoBコンサルティング部門にて業務改革とIT領域のプロジェクトを経験。後、BtoB製造業に特化した販売支援を専門とするベンチャーへ転職。大手企業から中小企業まで幅広く、150社以上の販売戦略の立案から施策実行までをトータルに支援。自社営業企業やマーケティング、営業マネジメントなどを経験した。2020年より株式会社才流にてコンサルタントとして活動。中小製造業の経営企画や事業戦略策定、IT化の支援などにも取り組む。製造業を総合的に支援できるコンサルタントを目指して取り組んでいる。

Advertisement for POWERED COSEL products. Features images of COSEL MMC8 and ZUS/ZUW series power supplies, a group photo of the Kaminari Island factory staff, and contact information for Nisseho Musen Co., Ltd. The main headline reads: 'お客様の「困った」から製品が生まれます' (Products are born from your 'trouble').

# AI・RPAのアルファTKG



## alfaTKG

3D-CAD, 図面管理, 工程管理, 生産管理

MF-TOKYO 2023  
AI・自動化フェア

**業界初** 精密板金業界向け  
ロボットシリーズ **新登場**

事務所作業の  
自動化



ソフトロボット  
RPA-Gaia

溶接・  
バリ取り作業の  
自動化



協働ロボット  
alfaJulia

